

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2022年度(令和4年度)第6回理事会議事録

1. 開催日時 2022年1月25日(水) 9:30-12:30

2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20名
出席理事 15名 (定足数11名 会議成立)

4. 議長 理事 高橋 幸弘

5. 出席役員

理事 高橋 幸弘
理事 田近 英一
理事 小口 千明
理事 河宮 未知生
理事 堀 利栄
理事 阿部 なつ江
理事 大谷 栄治
理事 沖 大幹
理事 倉本 圭
理事 成瀬 元
理事 西 弘嗣
理事 長谷川 直子
理事 日比谷 紀之
理事 福山 繭子
理事 道林 克禎
理事 村山 泰啓
理事 和田 浩二
監事 春山 成子
監事 松本 淳

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクション幹事	佐々木 貴教
地球人間圏科学セクションプレジデント	小口 高

地球人間圏科学セクション幹事	若狭 幸
固体地球科学セクションバイスプレジデント	片山 郁夫
地球生命科学セクションセクションプレジデント	掛川 武
地球生命科学セクションバイスプレジデント	黒柳 あずみ
地球生命科学セクション幹事	岡崎 裕典
情報システム委員会委員長	興野 純
グローバル戦略員会副委員長	鷲谷 威
学協会長会議議長	巖網林

午後 9 時 30 分、定数に達したので高橋幸弘会長が開会を宣言した。インターネット会議システム Zoom を利用し、審議において参加者全員が互いに適時的確な意見表明ができることを確認した。

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

- ・定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議し、これを承認した。
- ・なお学協会長会議において学協会の情報の改訂が十分でない点があったため、今後改訂できるように検討する。

第 2 号議案 委員会委員承認の件

- ・大会運営員会の新規委員を承認した。

第 3 号議案 日本学術会議に関する会長声明の件

・田近理事より日本学術会議の法改正について経緯の説明があった。第三者委員会の設置など学術会議や学術のあり方を変節してしまうような法改正の案が突然上がった。これに対して、物理学会、天文学会から再考を求める趣旨の会長声明を共同発出することの提案があった。

20 日に開催した学協会長会議でも同様の説明と声明の文案を提示したところ、学協会から反対はなく概ね賛同の声が挙がった。

30 日の日付で発出し、合わせて記者会見を開く予定である。

審議の結果、これを承認した。

第 4 号議案 招待講演者の投稿料・参加費に関するガイドライン承認の件

- ・大会における招待講演者の投稿料・参加費に関するガイドラインの設置を審議した。会員

を招待講演とする場合は、原則として投稿料・参加登録料は免除しないが、異なる分野の研究者（あるいは研究教育者でない場合）についてのガイドラインを審議した。これを承認した。

第 5号議案 招待講演者の投稿料・参加費免除承認の件

・第4号議案で承認したガイドラインに基づき、2023年大会 U-09 への招待講演者4名の投稿料・参加登録料の免除を審議した。これを承認した。

第 6号議案 常勤勤務者就業規則改訂の件

・これまで事務局職員の労働時間は1日7時間であったが、8時間労働とするため、規則の改訂を審議した。これを承認した。

第 7号議案 時間外労働・休日労働に関する協定届（通称 36 協定）の件

・労働基準監督署の指導に基づき、36協定の遵守を励行している。2月から更新となるため再度締結を行った。残業時間が多いことが指摘されているので、今後も減少させていく。残業は年に615時間以下、1か月100時間未満に押さえる必要がある。

第 8号議案 スポンサー制度の件

・スポンサー制度の新設を審議した。2024年大会からの本格的な導入を予定している。サービス内容については今後も精査する。第6条「契約の終了を希望するスポンサー」を「契約の更新を希望しないスポンサー」とする案が挙げられた。契約期間の取り決めについて検討した。

契約期間について修正することを前提に承認した。

第 9号議案 国際協力セッションの件

・ウォリス理事に代わり鷺谷副委員長から国際協力セッションについて、セッションの概要、団体の要件、申請の方法等について説明があった。審議の結果、承認した。

ICSU等の団体との協力やアマチュアを含めた団体との協力については今後検討することとした。

8. 報告事項

1.高橋 幸弘代表理事 職務報告

・高橋会長より AGU Meeting への参加報告があった。オンライン合わせて22000名程度の参加者があり、コロナ禍前までの規模に近づいている。表彰式では90名に上る受賞者が

表彰され、式については今後の参考になった。

2.田近 英一理事（広報普及担当）職務報告

- ・報告を省略した。

3.ウォリス理事 職務報告

- ・報告を省略した。

4.小口 千明理事 職務報告

- ・ダイバーシティ推進関連の報告があった。

5.河宮 未知生理事 職務報告

- ・スポンサー制度の検討について、および財務関連の活動報告があった。

6.堀 利栄理事 職務報告

・顕彰関連の報告があった。特別荣誉フェロー（仮）制度について検討している。ノーベル賞級の傑出した功績をあげた研究者を顕彰するための制度である。

7.道林 克禎理事（総務担当）職務報告

- ・事業計画書、事業報告を作成中である。
- ・総務関連について上田誠也フェローが逝去された。
- ・西理事より労務関連の報告があった。1月中に契約更新を行う。今後、在宅勤務の場合は定時勤務、事務局勤務の場合はフレックスタイム制とする。36協定が2月の更新であるので、本年は2回の契約更新となる。新規に1名職員を雇用する。新体制の整備については総務担当に一任してほしい。

8.成瀬 元理事（財務担当）職務報告

・決算案について報告があった。来期以降に資金を用いるため、新たな資金を設置することを検討している。使途として、ジャーナル関連費用、学生旅費補助費用、システム費用が候補に挙げられている。

遠隔参加を支援するなどの案が挙げられた。

・予算案について報告があった。大会参加料の値上げや事務局の補強について報告があった。

・今期の寄附について報告があった。現在のシステムだと寄附の方法がわかりにくいので、用意に寄附できるようなシステムに回収できると良いという意見があった。

9.和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

- ・和田理事より大会関連の報告があった。
- ・現在投稿受付中である。
- ・大会参加登録料は前回理事会以降、消費税部分を考慮し、微修正したうえで公表した。
- ・大会参加登録は3月7日に予定しており、万一それ以前に完全オンライン開催への移行が決断された場合には、大会参加登録料を見直す。
- ・コマ割りは現時点のものを発表している。投稿の数によって微修正が行われる。
- ・オンラインのプラットフォームは2022年大会と同様 Confit を用いる。
- ・口頭セッションの概要は2022年大会と同様を予定している。口頭セッション内の15分間はポスター発表のフラッシュトークに充てる。そのため口頭発表数が5コマになる。フラッシュトークはポスター発表成立の要件ではないが、やむを得ない事情がない限り行っていただく。
- ・ポスター資料は、全てオンライン上（Confit）に掲示することを必須とする。現地でのポスター発表は任意とする。
- ・懇親会は開催しないことに決定した。
- ・高校生セッションは5月28日にオンライン発表と審査を行う可能性がある。
- ・COVID-19対策は、会場内では黙食をお願いすることなどを予定している。
- ・発表者/コンビナー/座長間連絡MLを準備する。
- ・学生優秀発表賞、学生旅費補助、アルバイトについて説明があった。
- ・今大会より、全ての企画に対し申請書の提出が必要であるという説明があった。
- ・学生旅費補助について、参加費等の補助も検討してほしいという意見があったが、審査の難しさなどについての顕彰委員会で議論の紹介があった。

10.沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

- ・沖理事に代わり鷺谷副委員長から国際協力セッションの検討などについて報告があった。

11.ダイバーシティ推進委員会活動報告（阿部担当理事）

- ・大規模アンケートの結果から、文科省等へ提出する提言要望書を作成している。
- ・キャリアエクスペローラーロゴ、パブリックセッションについて報告があった。
- ・保育室については2023年大会は設置しないという報告があった。

12.教育検討委員会活動報告（阿部担当理事）

- ・教育関連の活動報告があった。
- ・地理オリンピック、地学オリンピックについて報告があった。

13.環境災害対応委員会報告（沖担当理事）

- ・報告を省略した。

14.情報システム委員会活動報告（村山担当理事）

- ・情報システム関連の活動報告があった。
- ・RDM タスクフォースを設立した。日本学術会議地球惑星科学委員会国際連携分科会にも設置を報告した。
- ・ORCID の Affiliation Manager への登録の試行を進めている。
- ・ホワイトハウスが 2023 年を Year of Open Science とする声明発表があった。日本国内でも、OA 論文化の推進が強化される可能性がある。

15.ジャーナル関連活動報告（倉本担当理事）

- ・ジャーナル関連の報告があった。
- ・出版までに要するスピードが向上し、被引用数を示す数値も向上している。
- ・AGU Fall Meeting への出展報告があった。

16.顕彰委員会活動報告（川幡担当理事）

- ・事務局より代理で報告があった。
- ・第4回顕彰委員会を開催した。大会時の旅費補助、コーヒーラウンジ、表彰式の準備を進めた。日本地球惑星科学連合特別荣誉フェロー（仮名）日本地球惑星科学連合国際貢献賞（仮名）、日本地球惑星科学連合会長賞（仮名）各賞の設置に向け検討を重ねているとの報告があった。

特に否定的なコメントがなかったので、次回理事会で日本地球惑星科学連合特別荣誉フェロー（仮名）、日本地球惑星科学連合会長賞（仮名）に関する規則の設置を議題として提出する方針である。

- ・旅費補助については今後大会運営と総務に移行したいというコメントがあったが、大会運営委員会和田委員長より、引き続き顕彰委員会に担当をお願いしたいので今後相談したいというコメントがあった。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した（12時30分）。

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

2023年1月25日 公益社団法人日本地球惑星科学連合 第6回理事会

出席理事 高橋 幸弘 印

出席理事	田近	英一	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	堀	利栄	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	大谷	栄治	印
出席理事	沖	大幹	印
出席理事	倉本	圭	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	長谷川	直子	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	福山	繭子	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席理事	和田	浩二	印
出席監事	春山	成子	印
出席理事	松本	淳	印